

爪が白く変形して薬を塗っても治りません  
爪水虫は飲み薬で治療します  
中野皮膚科クリニック  
<http://www.nakano-derma.com/>



最初は爪の先が白っぽくなり、次第に爪全体が変形したり、厚く盛り上がったりします

一般的に「水虫」と呼ばれる足白癬（はくせん）。癬菌が侵入すると、爪の指だけでなく爪にできることもあります。この爪白癬（爪水虫）について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「どんな病気ですか？」

「爪白癬は足白癬と同じカビの一種の白癬菌に感染して発症します。足白癬を合併しているケースもあります。白癬菌があれば治療を開始しますが、爪の表面からは薬の成分が浸透しにくいので、飲み薬での治療が基本となります。これまで用いられてきた内服薬は、併用禁忌薬が多い、内服期間が長いなどの使用しづらい点がありました。本年承認されたホスラブコナゾールは併用禁忌薬もなく、内服期間も12週と短くすすみます。」

一度白くなった爪は、白癬菌がいなくなっても元には戻らないので、白い部分を削って新しい爪が伸びるのを待ちます。その間も足をよく洗うなどの予防策も行うようにしてください。爪水虫かなと思ったら、まずは皮膚科の医師の診断を受け、相談しながら治療を進めていきましょう。」

中野皮膚科クリニック  
(マルビル5階)



問い合わせ  
中野皮膚科クリニック  
中野区中野2-30-3、マルビル5階。中野駅南口徒歩2分  
☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師